

## 2018年 百里初午まつり アピール (案)

安倍政権による憲法破壊・「海外で戦争する国づくり」が一層重大化しています。2018年度の防衛費は、6年連続の増額で過去最高の5兆1900億円です。北朝鮮からの危機を口実に、専守防衛を投げ捨て、空母の建造や長距離巡航ミサイルの取得など、敵基地攻撃能力の強化を進め、歯止めのない軍拡を進めています。

米トランプ政権は、核兵器禁止条約採択など核兵器全面禁止・廃絶の世界の流れに逆行した「核戦力の全面強化・小型核兵器の開発」を打ち出しました。唯一の被爆国である日本は「高く評価する」と発言。アメリカ言いなりの姿勢を明らかにしました。

沖縄ではオスプレイのヘリパッド建設を強行、辺野古新基地も問答無用で建設強行しています。民主主義を真っ向から否定する安倍政権の行為は、沖縄だけでなく日本全体の民主主義の問題であるところに危険の本質があります。

「戦争できる国づくり」を進める安倍政権は、憲法9条「改正」条文案の検討作業に入りました。9条2項を置いたまま、「自衛隊を明記」する方向と言いますが、どちらにしても、アメリカと一緒に「戦争できる憲法に変える」ことは全くじです。

沖縄では米軍機事故が頻発しています。また自衛隊でも静岡県沖で墜落事故を起こし隊員が死亡しました。佐賀県の事故でも隊員が犠牲になり、住民に死者こそ出ませんが、巻き込まれた住宅が炎上し小学5年の女兒が怪我をしています。

百里基地でも昨年10月、F4ファントムの火災事故が発生し、民間機を巻き込む危険性が指摘されました。百里基地は古い型のF4ファントム部隊が中心ですが、今後は最新鋭戦闘機であるF35部隊の配備や、オスプレイの横田基地配備に伴って、オスプレイが飛来する可能性もあります。住民の生活が犠牲になることは明らかです。

防衛費が増えれば福祉・教育費等が減らされます。日本のこどもたちは世界でも貧困率が高く大変な状況です。そんな中で生活保護費まで削ろうとする安倍政権に不安と批判の声も広がっています。戦争につながりかねない軍備拡張や基地強化を直ちに止め、税金は国民生活安定のために優先して使うべきです。

✓ 平和  
百里公園の初午まつりに参加した私たちは、「戦争する国づくり」を進め、民主主義を破壊する安倍政権を絶対に許しません。平和を願う多くの市民とともに、「安倍改憲NO! 3000万署名」を推進し、地域から全県・全国と連帯し、憲法を守り生かす草の根の運動を強化する取り組みをさらに進めます。百里に基地はいりません。

以上アピールします。

2018年2月11日

百里初午まつり 参加者一同